

## 計画とは何かを問う

現在は「計画」の時代である。計画なしに物事はすすまない。農業や農村についても計画と名の付くものが多い。私の専門とする農村計画をはじめ、圃場整備計画、農業施設計画等、さらに私の住む地域でも農業公園計画や道路計画等、計画と名の付いた話が飛び交っている。

これらの計画がどのようにして作成され、認知されて事業化されるのだろうか。計画があるというだけで、安心していないたろうか。また、「計画は役所がつくるもの」「住民は役所がつくった計画を認めるだけ」と思っていないだろうか。今、各地で生じている問題の多くは、安易な計画づくりで、強引な計画の認知の結果であると言っても過言ではない。

さまざまな「計画」は、その目指す姿、形を、事業実施前に事実をもって示すことはできない。そのため計画を認めるということは、計画の前提になっている諸事項の



①安曇野の圃場整備事業の予定地 ここでも、現況の土水路や農道の保全と整備について、話し合いや調整が求められた

妥当性を認めるというべきなのである。この前提になっっている諸事項の妥当性を判断することは、多くの情報が必要である。計画作成者は、多くの役所の担当者だが、計画に関連するすべての情報を正しく住民に知らせ、その情報に基づいて判断してもらう努力をすることが求められる。

さらに、計画の前提として「何のためにその計画が必要なのか」が、十分論議されなければならないのである。

例えば、道路の新設計画の場合、「道路をどうにつくるか」の前に「その道路がなぜ必要か」が真っ先に論じられねばならないのである。また、混住化がすすむ地域での農業公園などの計画でも同様である。一部の人達だけで計画がたてられ、実行されるのでは、真の地域計画とは言えない。その

## 地域計画の段階性

四月二一日付の本紙に公共事業に関するアンケート結果が掲載された。大変興味深い結果であった。その中で、無駄な公共事業として、道路への指摘が多いことが示されていた。よく聞く「光景の指摘だった。」「道路の掘り返して」「同じ場所を二度掘つての下水道工事、一度じゃれ」全く同感だ。これを見て、「道路の新設・改良はどのようになっているのか」と計画の面から考えてみた。

計画には種々あるが、「地域計画」をたてるべき、「計画の段階性」を考えることが必要だ。地域の計画には段階があり、それは、都道府県レベルでも、市町村レベルでも、また農村計画や都市計画でも同様で、構想計画―基本計画―実施計画―事業計画といった段階である。

「構想計画」はビジョンとも言われ、地域の将来の姿を示し、その目標に向かって基本的考え方や方向性や整備方針を大づかみにまとめたもの。

地域に住むすべての住民が、十分な情報を得て計画を判断する、これが現在、求められている地域計画への姿である。

どうも、そのことがわかっていない市町村が多い。何かの施設計画をたてると、地権者だけを対象に説明会を行い、地権者の同意を得たのだから事業化する、という姿勢の市町村が多い。これでは良い地域づくりができるわけがない。地域のすべての人達が判断できる十分な情報を提供する、これが計画づくりの第一歩である。

プランナーだけでなく住民も参加して作られた道路や施設であれば、きっと身近なものとして愛着をもって接することができるであろう。



④伊那市西箕輪羽広地区の農業公園「みはらしファーム」この農業公園も地域の計画の中で、どのように位置づけられていたのか

「基本計画」はマスタープランとしてよく知られているが、構想計画で示した将来の姿を、地域の現実をふまえてより具体的な形で示し、目標実現のための施策として組み立てるもの。

「実施計画」はプログラムとも言われ、基本計画を計画的・総合的に実施するための、具体的なスケジュールを示したもの。

さらに「事業計画」はプロジェクトと言われ、事業という形で具体化する詳細な計画である。

このように計画は順次、段階的に具体的なものになっていく。

冒頭の「道路の掘り返し」「下水道工事のための掘り返し」は、段階性に則してみれば、事業計画の問題である。こうした事業計画の問題では、基本計画の中でどのように位置付けられているのか

が、最初に問われねばならない。これらを考慮して基本計画に基づいて事業を行う地方自治体もあるが、その数は少ない。実際には、段階をふまずして計画が作成されている場合も多いし、基本計画と実施計画・事業計画が整合しない場合もよく目にする。

「わが市には立派な基本計画がある」「環境基本計画を作成した」と胸を張る行政担当者。しかし、基本計画を実施計画にどのように導いていくのか筋道ももたず、基本計画や環境基本計画と全く相反する道路新設や施設新設を盛った事業計画もよくみられる。

市町村レベルの地域計画の多くは行政担当者の手で作成されるが、自ら作成した計画を認めないのだろうか。残念なことである。

(11001・四・二二)